学校だより
プラタナス
令和３年２月５日(金)
No.37
市川市立市川小学校
校長　　蜂須賀　久幸
https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho

よりよい学校を願う声や思いに耳を傾けて

昨年１２月に実施した「学校評価（保護者アンケート）」にご記載いただいたご意見・ご感想を集約して、一部、説明をさせていただきました。

中には、「市川小は、学習面・思いやり面でとてもレベルの高い学校だと思う。担任をはじめ、困った事があれば、親切に教えてもらえて嬉しい。」「１年生もすっかり馴染み、友達ができた。先生や友達に毎日会える事が嬉しく、『早く朝にならないかなぁ。早く学校に行きたい！』とよく言っている。感謝の気持ちでいっぱい。」「コロナ禍のなか、学校、先生方には子供たちの学校生活を取り戻すために頑張ってくれてありがたい。」「担任の先生がとても信頼できて、なんでも話しできるようでとてもありがたい。」「先生方との距離感が近くなったようで、よく話をしてくる。」などの言葉が記されているとうれしくなります。

課題も少なくありません。しかし、その解決は学校だけでは叶いません。学校、保護者、児童、そして地域の方が一体となって、同じ方向性・目標でそれぞれの立場から取り組んでいく必要があります。私たち学校職員は、耳が痛いことにもしっかりと耳を傾け、真摯に受け止め、実践につなげていきます。

いただいたご意見のすべてを掲載することはできませんでした。また、文体を変えたり部分省略したりしたことでニュアンスが多少違ってしまう箇所があるかもしれませんがご容赦ください。

【１　教育活動について】

○指導が大変な子供もいるので、該当クラスだけに任せるのではなく、学校全体で対処してほしい。

○コロナウィルスが収まり安全が確認されたら、子供の学校生活が見えるような保護者が参加できる授業や行事をしてほしい。

○ＩＣＴ教育については公立でもすすんでいるところはあるのでモデル校になってほしい。

○一人１台タブレットが配布されるのはいつ頃になるのか？従来の学習方式に新しいものを取り入れて、学習内容への理解が深まり、習熟度合いが高まるようにしてほしいと思う。

○すぐには難しいと思うが、今後の休校や非常時に対応できるよう、ネット学習や課題等、学校に通わなくても授業が受けられるような環境整備を進めていってほしい。

⇒　従来型の学習のよさと新しい学習形態を融合させた学びの形を探っていきます。できることから進めます。

○仕方ないのかも知れないが、先生によって教育方針のバラつきを感じる。

○いじめに対する学校の明確な方針や体制が見えない（被害者側にも加害者側にも）。文科省が提示する取組に関して、市川小としての方針を文書化するなりして示すべき。また親子共に共通の認識が必要である。

⇒　HP に「市川小いじめ防止基本方針」を掲載しています。児童アンケートのほかに、担任や多くの教職員による日常観察に努め、早期発見と早期対応、心のケア、再発防止を心がけています。

○同じ市内でも学校によって、色々な面で違いが大きい。

○運動会や修学旅行が今年はコロナの影響で制限されてしまったが、市川小は特に消極的だったと思う。最終

学年はとても思い入れがあるので本当にがっかり。もう少し６年生の事を考えて、せめて運動会はもう少し運動会らしいものをしてほしかった。守りに入りすぎていると思う。他校は運動会がもっと想い出に残るものだったし、長縄大会等もやるようだ。

⇒ 運動会や宿泊的行事の中止は市川市内共通でした。ただし、様々な行事実施の可否は、学校規模や施設の容量など学校によって違ってきます。同じことを計画しても実施方法を変えたりできなかったりします。常に危機管理をしながら、児童の最低限の学びを保証しなければなりません。「やらせてあげたい」気持ちは誰もが一緒です。しかし「できる」とは違います。そうした中、6年生の学校宿泊への取組は、児童の学びが大きい画期的実践だったと思っています。今後も攻守のバランスを大事にしていきます。

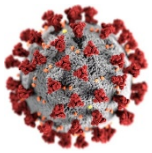
【2 新型コロナ感染症対策について】

〇休憩時間に子供たちが密着していると聞くし、放課後校庭で近距離で遊んでいるのを見かける。友達がいるのは良いことで必要な関わりだが、感染を防ぐ為に、もう少し何か働きかけがあっても良いと思う。

〇以前、ボランティアの際に、消毒はマイペットを使用していたが、コロナがまた流行しているので、部分的に塩素やアルコールを使用した方がよいのではと気にかかっている。

〇子どももコロナに慣れてきて、手洗い等を当初ほど率先してしなくなっている。市内でも感染者が増えており、学校でも更に指導をお願いしたい。

〇コロナ禍の中、学校側の対応に安心感を抱いているが、イベントの減少による子供たちの不憫さはどうしても拭えない。何とか来年は安全対策を万全にしてイベント全てを決行して欲しい！



〇このご時世、家庭科の調理実習を行うことに、少し不安を感じる。

〇給食前に手を洗ってない子がいるようだ。消毒も同様なので、徹底してほしい。

⇒ 上述すべてにおいて、いただいたご意見を指導・実践に生かせるように参考にします。

【3 安全・安心について】

〇下校時の 14 号門に直進の生徒の行列ができて、左折右折組が出られないで状態がある。渋滞している事も気になる。横に一人分空けて並ぶなど工夫すれば、渋滞にならずに済むだろう。

〇交通当番のお手伝い時、信号が変わっても全く急がない子や、止めても走りだしてしまう子がいて危険を感じた。家庭ではもちろんですが、学校でも定期的に指導してもらえるとよい。

〇今年度はコロナの影響で、入学時に登下校指導がなかったせいか、１年生で国道の縁石の上を歩く子、歩道に広がって歩く子、歩道で追い駆けっこをする子、時には朝顔の支柱でお友達のランドセルを叩いたり、通学路ではないこがね公園を通り抜けたりしている。家庭できちんと話し合い、安全について教えれば良いことなのだが、それをしない、できない家庭もあるようだ。今一度通学路での安全指導をお願いしたい。

⇒ １回指導しただけに終わらず、様々な場面で指導し、意識を新たにできるように努めます。

〇体育館靴箱前のすのこが劣化しており、釘が飛び出ていて靴下に穴があいたと言うし、怪我をしかねない。施設・設備の劣化、危険箇所を年度末清掃時にでもよいので、保護者も一緒に点検・修繕していけたら安全に繋がる。先生方だけでは負担が多すぎる。保護者のできることはどんどん協力を要請してほしい。

〇女子の母。体育の授業時に、衛生上の問題で下着の着用は許可されていないときいたことがあるが、成長期

で体の変化もあるため、肌着の着用を許可してほしい。

⇒ 体操服は汗や汚れが付着するので必ず着替えます。肌着も同じで、体育が終わったら脱げるのであればよいと考えます。言葉足らずで、児童に伝わっていない部分があることを反省します。

【4 情報・HP関係について】

○手紙を楽しく見ている。学校での様々なことが知れてよいと思う。また、メールでの情報提供が助かる。

○昨年度よりも情報内容がわかりやすく、親身になってくれていると感じる。前回のアンケートにて記載した内容についての進捗を報告してもらえると嬉しい。

⇒ ①運動会・授業参観の代替措置として、11 月に校庭で体育授業参観を学年ごとに実施しました。
②欠席連絡をメールで行えるように整えました。
③活動の様子ほか様々な情報を、HP に掲載したり、冊子「市川小ナビ」にまとめたりしていきます。
④安全確保・安全指導については、児童だけでなくたよりや HP を通して情報提供に努めています。
⑤PTA の委員等について、負担軽減と全員が参加しやすい体制をめざして検討中です。 など…

○今年は授業参観もなく、第一子で１年生の家庭には学校の様子を知ることが難しい。子供がどのように学校で過ごしているかがわからず不安を感じる面がある。授業の様子を写真や動画等で限定的にアップするなど検討するとよい。

○お便りやアンケート、お休み連絡をこういった形で携帯からできるようになり、とても便利になった。

○最近、便りだけでなく、メールで重要な配布物の案内をしてもらえて、子供に確認できるので大変助かる。また Web 上での回答もでき、スムーズでよい。

○学校だよりで色々な話題を提供してくれるのが楽しい。

○学校だよりの内容について、連絡事項等の情報、授業の様子や表彰等の児童に関する情報が少ない、もしくはない号がある。そうであれば、毎週発行しなくてもよいのではないか。情報発信に努めることはありがたいが、必要度の低い情報が過剰な状況について再考してほしいと思う。

⇒ 学校だよりは、市川小の教育に関する考え方や目指したい児童の姿・大人の在り方を中心に掲載しています。注意喚起や表彰もタイムリーに取り上げています。また、全校保護者へのおしらせ一件を1枚の用紙で配付していたこれまでのやり方を見直し、学校だよりにできるだけ集約するように変更しました。これにより、必要な情報を必要な時に伝えられると考えています。

○学校ホームページについて、「市川小ブログ」が活用されていないのが残念。学校だよりにも児童の様子に関する情報が少ないため、考えてほしい。

⇒ 終わった各種活動の写真を掲載して報告することを学校だよりの目的にしていません。むしろ、ご指摘いただいている「市川小ブログ」に個人情報等に気を付けて掲載できることが望ましいと考えます。児童の活動や給食メニューは、3学期からタイムリーな情報を掲載するように努めています。

○次月のスケジュールなど、連絡事項を早めに伝えてほしい。

○連絡事項や持ち物等の確認や相互発信に掲示板等の電子媒体を活用してほしい。現状は、行事や持ち物等の情報が連絡帳やプリント等に散在している。

○ホームページの年間予定表など、必要な情報の更新がされていない。

○ペーパーレス化を図り、学校からの手紙は極力メール配信にしてほしいと思う。

○アンケート等、当日に締め切りメールがきた時がある。当日では意味がない。

⇒ 提出物関係は、事前に期限をお伝えしており、ほとんどがそれまでにご提出いただいています。当日に差し上げるメールは、あくまでも忙しさゆえに忘れてしまっている方への確認ですので、回答が一日遅れでも仕方ないと考えています。

〇学年毎に送られるメールの表題に、対象学年を表記してほしい。兄弟がいるとどちらの事か分からない。

⇒ すぐに対応できるようにします。ただ、急ぐが故に忘れてしまう場合があるかもしれません。その時はお許しください。

【5 その他】

〇給食費や徴収金の口座引き落としの手続きが立て続けにあって、無事に手続きされているか心配である。

〇給食費以外の経費について、子供経由で書類を提出したが、セキュリティの面から心配であった。

〇給食費と教材費の口座振替を別日に配布されたのが困った。平日、銀行の時間に手続きができない家庭もある。手続きは１回で済むようスマートに、又は期限に余裕を持てるようにすればよい。

⇒ 給食費とその他の徴収金の手続きの用紙が似ているにもかかわらず、一方は金機関提出、もう一方は学校提出となって間違いが多く発生することを避けるために期間を空けて二度に分けさせていただきました。今後の諸対応に生かすため、多角的に検討をする際の参考にさせていただきます。

〇給食費など引き落としになり助かる。これからも改革を進め、負担軽減に努めてほしい。

〇昼の放送で怖い話をするのを子供がとても怖がっている。大人や高学年は面白かったりすることも、低学年の子供にはまだ耐性がなく恐怖心が強い場合もあるかと思う。強制的に耳に入ってくるのでは避けることもできないので、内容を変更に対応してほしい。

〇近くに公園がないので、土日の校庭解放の検討をお願いしたい。

⇒ 土日の学校開放は、事故・けがの心配のほか、登録団体に使用を認めているため行っていません。

〇出産予定や体調不良の先生は担任を受け持たないなど、子供に対しての配慮をお願いしたい。担任の休みが多いと授業の遅れや宿題量に差が出るのは心配。

⇒ 担任が代わったり休んだりすることへの児童の不安は計り知れないものがありますし、保護者の戸惑いも察します。職員の中には、日数や時間帯、職務等が限定されている職員も少なくありません。ですから、産休に入る職員や持病を抱える職員、子育て真っ最中の職員みな、原則学級担任となります。また、出産や病気等を理由にした、本人の意に反する校内人事は、「配慮」ではなく「差別」となる恐れがあります。さらに、配慮したくてもできる人的余裕がない場合もありますから、様々な事情を抱える職員を、学校全体で支え、児童の指導・支援にあたりたいと考えます。

〇特別支援学級の人数が多いのでクラスを分けて欲しい。

⇒ 学年当初を過ぎて特支学級を増やすためには、いくつかの条件を満たす必要があります。担任配置は叶いませんでしたが、要望を伝え続けることで、補助教員の追加配置に至った次第です。

〇質問項目について詳しく知らない場合があるので、「わからない」の回答を選択できるようにしてほしい。

⇒ 今年度から「1.とてもあてはまる」「2.あてはまる」「3.あまりあてはまらない」「4.あてはまらない」に加えて、「0.わからない」を設定して、できるだけ実態に即した結果が得られるようにしています。

〇最近、ゲーム機スイッチで友人と会話しながらのゲームを始めてしまい、大変困っている。本来家庭で規制すべきものだとは思うが、動画などが脳に及ぼす悪影響などアナウンスもらえると助かる。

⇒ 今後、学校教育、家庭教育等に関する話題を、タイムリーに提供できるように努めます。